

給水
支援

平成30年7月豪雨災害の被災地に給水支援

水資源機構は、危機的状況の発生時に的確な対応を行うため、日頃より危機管理体制の整備・強化を図っています。その取組のひとつとして、海水などの原水から飲料水などを生成する可搬式浄水装置を2機（愛知用水配備：能力35m³/日、利根導水配備：能力50m³/日）保有しており、これまでも水源枯渇の恐れが生じた際の離島や地震等の被災地において、給水支援を行ってきました。

この経験を活かし、平成30年7月豪雨により広域で断水が続いた被災地への給水支援のため、広島県三原市にある三原港に可搬式浄水装置2機及び職員を派遣しました。現地到着後、同港で汲み上げた海水を淡水化し、水質検査を行った後、7月15日から22日までの8日間、約38,300ℓ（18ℓ ポリタンク換算で約2,130個分に相当）の給水支援を実施しました。

生活用水を求めて来られた被災地の方から、「トイレは水をたくさん使うが、給水所からもらえる水量に制限があるのでとても困っている。ここで水をもらえると本当に助かる。」といったお言葉を頂戴しました。



木曾川
水系

●阿木川ダム管理所（岐阜県）

空心菜で阿木川ダム湖水質浄化実験

阿木川ダムでは、ダム湖の水質浄化の取組として空心菜の水耕栽培を実施しています。空心菜は、生育の際に大量の水とともに水中の富栄養化につながるリンや窒素を吸収するため、ダム湖の水質浄化の効果が期待され、岐阜県立恵那農業高校の生徒が育てた空心菜の苗1,200株を、6月にダム湖面に植え付けました。その刈り取りを8月2日に行い、地域活性化に向けた取組も行っています。

今年で15年目となるこの取組は、県立恵那農業高校、恵那市、地元住民及び阿木川ダム管理所の協働で実施しています。



JWA国際どっとねっと 水資源機構の国際業務を紹介

質の高いインフラ整備に向けて

国内のインフラ業務を担う独立行政法人などに海外事業を推進させる「海外社会資本事業への我が国事業者の参入の促進に関する法律」の成立を受け、海外の水資源開発事業への我が国事業者の参入の促進を図るため、体制の整備や人材育成に取り組みます。

水資源機構は、これまでアジア開発銀行などと連携してアジア河川流域機関ネットワーク（NARBO）の設立や、メンバー機関への技術支援、JICAからの要請に基づく研修や人材の派遣などを行ってきました。今後とも、安全で豊かな社会づくりに貢献していきます。



ネパールで実施中の技術支援の様子

淀川
水系

●一庫ダム管理所（兵庫県）

一庫ダムで
流木ペインティング大会開催！

8月5日、一庫ダムにおいて、一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会が主催する流木ペインティング大会が開催されました。これは、ダム湖に流入した流木にペインティングし、芸術作品を作ることで廃棄物を有効に活用するものです。

当日は、洋画家の安食慎太郎氏（一庫ダム展望台壁画作者）の実技指導のもと、皆様に思い思いにペインティングしていただきました。



一庫ダム展望台壁画

●川上ダム建設所（三重県）

忍者ダムカード配布中！

三重県にある川上ダム建設所では、ダムカード初版配布開始1周年を記念して、伊賀流忍者ロゴのシールを付けたダムカードを8月1日から配布しています。伊賀流忍者ロゴは、昨年「忍者市」宣言をした伊賀市のご協力をいただき作成しました。伊賀流忍者の故郷を旅する際には、新しいカードを手に入れることをお忘れなく！

配布場所：独立行政法人水資源機構川上ダム建設所（三重県伊賀市阿保251番地）

配布時間：9～17時
（土、日、祝日、12/29～1/3を除く）



平成30年度優良工事等表彰式を開催

7月9日、水資源機構本社にて平成29年度に完成した工事や業務の中で優れた成績を収めた工事、業務並びに技術者を表彰するため優良工事等表彰式を開催し、理事長表彰として優良工事17件、優秀工事技術者13名、優良業務13件、優秀技術者14名の表彰を行いました。

「安全で良質な水を安定して安くお届けする」という水資源機構の経営理念の実現に向けて、今後も企業の皆様と協力して取り組んで参ります。

なお、各支社局や現場事務所においても優良工事等表彰式を行いました。



優良工事表彰



優良業務表彰